

園の環境として、これが門扉ではなく玄関ドアなら、「玄関ドア」と変えてください。以下すべて同じ。

保護者の皆さまに大切なお願い

門扉を出る時は、必ずお子さんと一緒に！

この3つは前提ですが、これを大きく書いても、読んだ側は「だから？」としか感じません。「何をしてほしいか」をはっきり書くことが必須。

- ★「車は危ない」とわかっているけど、子どもは急に走り出します。
- ★行方不明事故は、深刻な事故につながりかねません。
- ★送迎時、園職員が門扉周辺で見守ることはできません。

「こんなこと、書けない」…？ できないことは「できない」と明言しましょう。

明朝体とゴシック体を使い分けて、目立たせる！

紙を大きくするなどして、赤で囲んである内容はタイトルぐらいの文字の大きさにしてください

・あなたの手は、お子さんの命綱

送迎時、玄関や門扉はひんぱんに開閉します。その間にお子さんが出ていってしまうことがあります。玄関・門扉周辺では、**お子さんから目、手を離さない**でください。

園の環境、設備によって、「玄関」「門扉」、または両方を選択してください。

・安全はお互いさま

玄関や門扉を開け閉めする際、子どもだけが園から出ていくのを見たら、**知らない子でも必ず呼びとめて**、園にいる保護者、職員に声をかけてください。

「把握するのは園の仕事、保育者がやってあたりまえ」だと思っているのであれば、この項目は要らないと思いますが…。

・朝は必ず声をかけて

お急ぎでも、必ず職員に声をかけてお子さんをお預けください。声をかけていただかないと、お子さんの登園、人数を把握できません。朝は、お預けまでに時間をいただくこともありますが、子どもたちを大切に一人ひとりお預かりするためです。ご了承ください。

・鍵、開錠ボタンは、おとなだけ

該当しないのであれば、この項目は不要です。

おとなの行動を、子どもはよく観察しています。そして、真似をします。鍵、開錠ボタンは、子どもに触らせないでください。